

安全衛生だより第11号

1. 12月全国行事

- | | |
|---------------|--------------|
| 1) 冬の省エネ総点検の日 | 12月1日 |
| 2) 大気汚染防止推進月間 | 12月1日～12月31日 |
| 3) 地球温暖化防止月間 | 12月1日～12月31日 |
| 4) 年末年始無災害運動 | 12月1日～1月15日 |

2. 安全・衛生・防災の心得：危険予知訓練（KYT）とは

危険予知訓練は、**K**：危険（キケン、Kiken）、**Y**：予知（ヨチ、Yochi）、**T**：トレーニング（トレーニング、Training）、**KYT**といいます。

危険予知訓練は、職場や作業の状況のなかにひそむ危険要因とそれが引き起こす現象を、職場や作業の状況を描いたイラストシートを使って、また、現場で実際に作業をしたり、作業してみせたりしながら、小集団で話し合い、考え合い、分かり合っ、危険のポイントや重点実施項目を指差唱和・指差呼称で確認して、行動する前に解決する訓練です。

引用：中央労働災害防止協会 危険予知訓練（KYT）とは
<https://www.jisha.or.jp/zerosai/kyt/index.html>

【危険予知(KYT)で用いるイラストシートの例】↓
このイラストを見て考えられる危険を出し合う



3. 当社 良い事例（抜粋）

●平塚第二工場熱処理工場

①職場全員の寄書きにてゼロ災に向けて宣言を掲示



②作業場内の作業性向上と4Sへの取組



4. ヒヤリハット事例

●事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	作業中
どこで	第6工場にて
何をしている時に	フォークリフトで客先のパレットを運搬中に
どうなった	2段で運搬していたが上の段のラッシングベルト（荷物固定用ベルト）が緩く製品が動いたためブレーキをかけた。ヒヤリとした。

5. 他社 事故・災害事例から：

薄鉄板のコイル巻きを中腰の状態を抱えた際、背中から腰部にかけて痛みが生じた

(1) 災害発生状況

被災者は、作業場で資材の整理を行っていた。薄鉄板のコイル巻き（約30kg）を、指定場所に移動するため中腰の状態を抱えた際、背中から腰部にかけて痛みが生じた。病院を受診したところ、腰椎椎間板ヘルニアと診断された。



(2) 災害発生原因

膝を曲げ、腰を十分に下ろすことなく、腰部に負担がかかる中途半端な姿勢で重量物を持ち上げようとしたこと。

(3) 再発防止対策

類似災害の防止のためには、次のような対策の徹底が必要です。

- ①重量物の取り扱い作業では、自動化及び省力化を図り、できるだけ人力の負担を軽減するように努めること。
- ②腰部に過度な負担がかかるような重量物の扱いは、複数の作業員で行うこと。
- ③重量物を取り扱う際は、急激な身体の移動をなくし、身体の重心の移動を少なくするなど、できるだけ腰部に負担をかけない姿勢で行うこと。

●環境安全部から：荷物を持ち上げるときは腰を落とす。上体が曲がった状態で荷物を持ち上げると腰に負担が掛かるので、必ず腰を落として持ち上げるようにすること。

当社、構内作業安全基準書（改訂第2版）の中で、腰痛防止について記載（P26）しておりますのでご参照下さい。

引用：厚生労働者 職場の安全サイト 労働災害事例 キーワード 重量物

薄鉄板のコイル巻きを中腰の状態を抱えた際、背中から腰部にかけて痛みが生じた

https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SAI_FND.aspx

6. 楽しく学ぼう4コマ漫画：年末年始無災害運動標語



以上